



# 松永さんはなぜ里山再生するんですか？



竹を切った場所。もとは畑だった。  
切った竹を乾燥させて柵を手作りしている。



店名にもある庭づくりは、夫婦共通の趣味。  
5月はいろいろな種類のバラが咲く。

移住・定住  
支援情報

## 青大新聞

Vol.39

### 色のある里山に再生したい。

ガーデンCafe 柵の木のオーナー、松永さん。松浦へUターンしたのは2016年、59歳のとき。

2017年にオープンした柵の木は今年4月に4周年を迎えました。周辺の里山再生は2019年にスタート。竹を1日に20本切り、花や木を少しずつ植えています。

「松浦の山に、花木を植えて色のある里山にしたい。山に色がないと殺伐とした印象になる。花木は訪れた人の印象を良くするし、観光や移住などの行動のきっかけになりうる」と松永さん。

**心落ち着く時間を過ごしてほしい。**

松永さんは高校生の頃、友人と山小屋でカレーを作って食べたり泊まったりして楽しんだ思い出があります。その友人とは、40年以上経った今も、30分も話せば高校時代のように戻れるような仲。

「カフェ周辺の里山も、訪れた人が散策やキャンプを楽しめる場所にしたい。海や山や川を眺めて、心落ち着く時間を過ごしてほしい。」と話してくれました。

松永さんの里山再生は、地道な手仕事の積み重ね。その行動力が訪れる人だけでなく周辺に住む人の心も少しずつ元気にしています。



松永良二さん。ガーデンCafe 柵の木オーナー。  
<http://cafe-isunoki.nagasaki.jp>



松浦市 大人の学び場 政策企画課 ふるさと納税・魅力発信室  
青の大学 ☎0956-72-1111

## 山 松高だより 山

### ■文化部芸術祭 ～2年ぶりの文芸祭、大成功に終わる～

3月21日(日)、松浦市文化会館にて文化部芸術祭を開催しました。コロナ禍の影響で2年ぶりの開催でしたが、文化部の生徒たちは一致団結して素晴らしいパフォーマンスを披露しました。



実行委員長の長谷川遥菜さん(吹奏楽部2年・御厨中学校出身)は「コロナ禍の中、文芸祭が開催できるよう協力してくださった全ての方々へ心から感謝します」と語りました。



### ■校内球技大会 ～本年度最後の行事を満喫しました～

3月23日(火)、校内球技大会を開催しました。生徒たちは好天の中、サッカーとバレーボールで心地よい汗を流し、本年度最後の行事を大いに満喫しました。サッカー男子優勝の2年2組・七種陽太さん(御厨中学校出身)は「クラスの間々と話し合いながら練習した成果が優勝という結果につながり、とても嬉しく思います」と喜びを語りました。

